

地元間伐材の棺で環境保全と地産地消 今年3月から取り扱い開始



J Aあいち豊田の子会社で葬祭事業を行う(株) J Aあいち豊田サービス(代表取締役社長:石川尚人)は、今年3月から環境保全と地産地消につながる地元間伐材で作った棺の取り扱いを始めました。

この棺は、豊田市内の業者が開発したもの。国内の間伐材のみを使った日本製で、その80%以上は豊田市内のスギ材で作られています。棺は中国などから輸入したものが多いため、国産は貴重です。同社の葬儀プランでオプションとして利用できます。ふるさとの恵みに包まれて故人を送れることや、地域貢献にもつながる活動として、利用者に使っていただきたいと考えて導入しました。

間伐材とは、木々の間隔を一定以上に保つため間引いた木材のこと。間伐は、木を大きく生長させるとともに、地面に日光を当てることで下草が育つ環境を作り、地盤を固めて土砂崩れの防止にも役立っています。特に人工林では必要な作業です。

豊田市は、市域の約7割(約63,000ha)が森林で、そのうち国有林を除く森林面積の約57%が人工林です。(平成28年度愛知県林業統計)



▲同社が取り扱いを始めた市内間伐材で作った棺

取材対応日

日時: **随時、取材対応いたします。取材を希望の方は事前に取材日をご連絡ください。**

場所: 株式会社 J A あいち豊田サービス やすらぎセンター
豊田市松平志賀町横 19 番地

お問い合わせ先: 株式会社 J A あいち豊田サービス 担当 林
豊田市松平志賀町横 19 番地
TEL: (0565) 58-5588

